



国民の森林・国有林

中部森林管理局

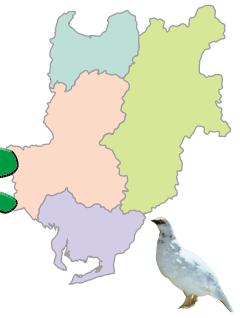
〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



賀正



白馬岳から望む日の出



2011・国際森林年

新年を迎えて 森林・林業再生プランの始動

主な項目

- 城土局長年頭挨拶 P2
- 2010年 主な出来事 P4~5
- 風景紀行「野麦峠と御岳山」 P6

新年を迎えて

森林・林業再生プランの始動

中部森林管理局長 城土 裕



新年明けましておめでとうござい
ます。

皆様におかれましては、清々しい新年
を、ご家族共々お迎えのことと心よりお慶
び申し上げます。

ここ一年間の森林・林業・木材産業に
関わる出来事を振り返ってみますと、一
昨年十二月には十年後の木材自給率を
五十%以上とすることを目的とした「森
林・林業再生プラン」が農林水産省にお
いて策定されました。

また、昨年の五月には成熟する人工林
をはじめとする森林資源を有効活用する
ために「公共建築物等における木材の利
用の促進に関する法律」が成立し、十月
に施行され、今後、国等の低層な公共建
築物は基本的には木造で整備されること
となりました。さらに六月には低迷する
経済と雇用を改善するために政府が閣議

決定した「新成長戦略」において、「森林
林業再生プラン」は国家戦略プロジェクト
の一つに位置付けられ、京都議定書に
おける温室効果ガスの削減目標の達成と
併せて、その着実な推進に国民的な期待
が寄せられています。

また、私も国有林野事業について
は、昨年十月末に実施された行政刷新会
議での事業仕分けにおいて、「国有林野
事業特別会計」は、事務・事業の一般会
計化と併せて、累積債務については経理
区分をして林産物収入等による自己収入
によって四十年間をかけて返済し、一般
会計にツケを回さない方向が示されまし
た。

今後において、国有林野事業の改革法
案に係る具体的な検討がなされるものと
考えますが、森林管理局等が国民共有
の財産である国有林を適正に管理経営し

ていく役割はこれからも変わらないもの
と考えています。

さて、ご案内のとおり中部森林管理局
は、長野・富山・岐阜・愛知県の四県に
所在する国有林を管轄しており、「日本
の屋根」といわれる日本アルプスをはじ
めとした、脊梁山脈を擁しています。こ
の地域は、信濃川、木曾三川などの源流
地帯でもあり、水資源のかん養や国土自
然環境の保全など、私たちの生命や暮ら
しに欠かすことのできない森林の多様な
機能を発揮している地域であります。ま
た、木曾・東濃地方に代表される木曾ヒ
ノキや人工林ヒノキ、更にはカラマツな
どの産地として我が国有数の林業地帯と
もなっております。

このような地域に所在する当局の立地
条件を活かし、本年は、「森林・林業再
生プラン」の実質的初年度として、適切

な森林施策の実施、低コスト作業システ
ムの確立、担い手や人材の育成を通じて
国土の保全や水資源のかん養、地球温暖
化防止のための森林吸収源対策の推進、
安定的な木材の供給、森林域での生物多
様性の保全などの国民の皆様からの期待
に適切に応えられるよう、具体的な取組
を推進していくこととしています。

このように林政の基本的な方向が大き
く変わろうとする中で、折しも本年は国
連が定める「国際森林年」であり、森林
の持続可能な経営やその保全の重要性を
認識していただくため、局・署等が一体
となって国民の視点に立った事業の実行
や事務・業務の改善等に取り組み、地域
からの信頼、国民の幅広い理解と支援を
得るよう努めるとともに、関係する県や
市町村等とも連絡を密にして、着実な施
策の展開を図っていくこととしておりま
すので、関係各位のご理解とご協力をお
願いたします。

以上、年頭にあたりまして、所感の一
端を申し上げたところでありますが、本年が災
害のない明るい年となるよう願うととも
に、ご家族共々皆様のご健勝とご多幸を
祈念申し上げます、年頭のあいさつといたし
ます。

今年の干支は辛卯



今年の干支は「辛卯」の年です。

易学上で、「辛」は草木が枯れて新しい世代が生まれようとする状態を意味し、「卯」は草木が地面を覆う状態を意味するとされており、まさに世代交代が行われて、新しい息吹が満ちる年であると考えられますので、長引く経済不況から脱却して我が国の社会・経済が新たな段階へ進む転換の年となることが期待されます。

(3) 平成 23 年 1 月

また、卯にまつわる植物といえば、谷筋等に生育して旧暦の卯月（現在の五月六月）に白い花を付けるアジサイ科のウツギが思い浮かびます。漢字では茎の部分が中空となっていることから「空木」と表記されますが、万葉の時代から白い五弁の花が尊ばれ、生け垣や境界線などに用いられたとされており、私たち森林管理局等は厳しい経営環境の下にありますが、ウツギの花にならない、取り巻く様々な課題一つ一つに区切りを付けて、森林資源の充実、林業・木材産業の持続的な発展を図るとともに、これらの活動について国民の皆様へのPRに積極的に取り組んでいきたいと思います。（以上 局長談）

「辛卯」は「かのとう」と読み、六十干支の二十八番目です。

辛は、十干の八番目「金の弟」で、宝石や貴金属など小さくて精錬された金属を象徴するそうです。辛の字は新で草木が枯れて新たな世代が生まれようとする状態を表し、卯は、十二支の四番目で季節は旧暦の二月に当たり、方位は東が割り当てられ、動物は兎が割り当てられています。卯の字は茂るという意味を持ち、草木が地面を覆う状態を表しているそうです。



兎といえば、

私たち林業に携わる者からすると植林木を食害する野ウサギが思い浮かびます。かつては食害を防止するため害

獣として駆除を行っていましたが、近年では生息数が減少しているものと思われ

ます。一方、最近ではペットとしての人気も高く、愛くるしい仕草に癒されている方も多いのではないのでしょうか。

平成二十三年は卯年、今年も良い年でありま



シリーズ 現場最前線

地域に親しまれる

国有林を目指して

「南木曾支署阿寺森林事務所班」

長野県南木曾郡南部にある大桑村には、阿寺溪谷という急峻かつ風光明媚な溪谷があります。阿寺溪谷はレクリエーションの森に指定されており、「阿寺ブルー」と称される溪流の美しさを求め四季を通じて多くの方々を訪れ、信州の名水・秘水に認定された「美顔水」も湧出しています。

この溪谷を中心とした木曾川右岸の阿寺国有林及び木曾川左岸に位置する天王洞国有林、約五、四〇〇畝を管轄しているのが阿寺森林事務所です。

管内の特徴としては、阿寺溪谷のほか「阿寺ヒノキ」と言われる高齢級ヒノキ人工林が多く一〇〇年生以上の林分も見られます。また希少種であるハナノキ大樹の自生地としても知られています。

当事務所の現場班は、現在三名でレクリエーションの森の整備、林道維持、各種調査業務や獣害防除、歩道整備にと森林保全管理業務を中心に作業を行っています。毎朝のミーティングは、冗談から始まる和やかな雰囲気の中で、日々内容が替わる業務を安全でかつ効率良く進められるよう、様々なアイデアを出しながら

ら作業に取り組んでいます。

特にレクリエーションの森の整備では、地域とも連携を図りながら併用林道沿線から溪谷の見通しを良くするための修景除伐を行ったり、事故防止のために林道施設の整備を行ったりと溪谷を訪れた方々に安心して楽しんでいただくような作業に取り組んでいます。こういった取り組みが、地元からも大変喜ばれ地域貢献の一役にもなっています。

これからも、少人数ではありますがチームワークと互いの思いやりを大切に、阿寺の国有林を守り・育て・親しんでいただく森林づくりに取り組んでいます。



阿寺ブルーをバックに